

# まちなか自然講座

## ～昆虫・植物・菌類～

日時：5月15日～（全9回）

毎週月曜日 18：30～

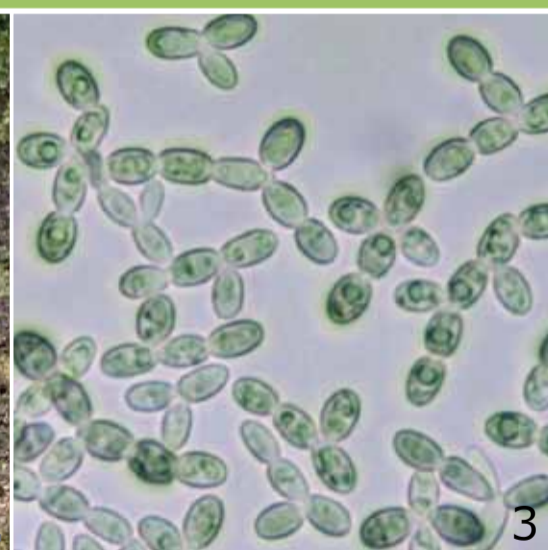
会場：まちなかキャンパスうえだ

受講  
無料



知っていますか？  
昆虫の進化、植物の  
知恵、菌類の世界…

事前  
申込



1. ノイバラの花を訪れるハナバチの一種 2. ヒトツモンイシノミ 3. メチニコビア属の一種の酵母  
4. ミズナラの芽生え 5. 講義風景 6. キバネツノトンボ

# 「まちなか自然講座 ～昆虫・植物・菌類～」

講座予定 月曜日 18:30～20:00 全9回

筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所の教員3名が、一般向けに講義をおこないます。講義内容は、大学生向けに行なっているものと同じレベルです。自然や生物についてもっと知識を深めたい、筑波大学の授業を体験してみたい、といった方におススメです。

全講座の7割以上に出席された方には、修了証が授与されます。

## 「影の働きものキノコ・カビ・コウボ ～菌類系統分類学～」

5月15・22・29日 担当：出川洋介（助教）

酒、味噌、醤油など発酵食品を作っているのは微生物のなかま、菌類です。しかし、「発酵」という現象は「腐敗」と本質的に変わりはなく、これらは人間にとって有益か有害かという点だけで区別されているに過ぎません。味方・敵としての面だけではなく、自然界における菌類の多様性やその役割を探ってみましょう。

## 「草木たちの命のリレー ～植物保全生態学～」

6月5・12・19日 担当：田中健太（准教授）

様々な草木が、様々なやり方で、何十万年も前の氷河期から現在まで、命のリレーをしてきました。山火事や洪水などの自然撓乱が起きると、まず草原ができて森林に移り変わる「遷移」が起き、それが植物の多様性を生みます。しかし現在の日本は、草原と原生林という遷移の始点と終点がない、おかしな自然になっています。自然を守るにはどうすれば良いのか、植物の生存・繁殖戦略から探ります。

## 「昆虫たちのサクセスストーリー ～昆虫系統分類学～」

6月26日、7月3・10日 担当：町田龍一郎（教授）

街中や田畑の周り、山の中まで様々な場所でみられる昆虫。現在、全動物種の75%をも占めるほどに大繁栄している昆虫類は、数億年をかけて現在の姿に進化してきました。身近な昆虫たちの、進化をひも解きます。

**会場：まちなかキャンパスうえだ**

（上田市中央2-5-10丸陽ビル1階）

アクセス：上田駅お城口から徒歩約10分。

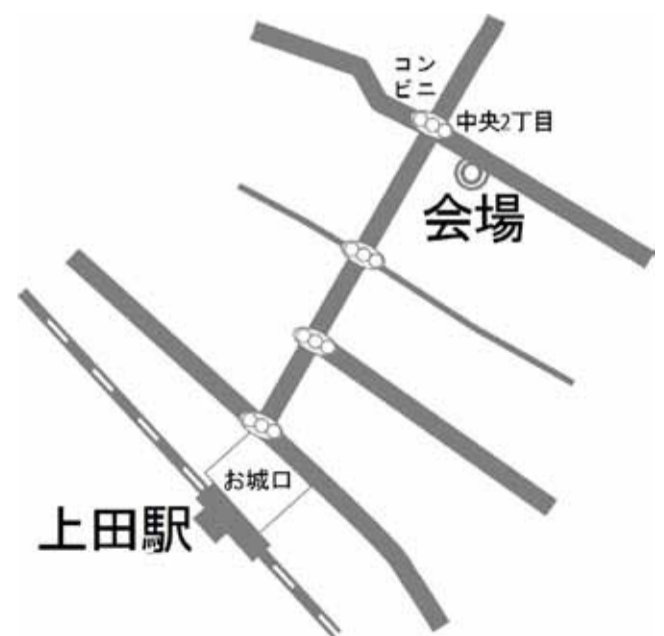
お車でお越しの方は、周辺の有料駐車場をご利用ください。

**受講料：無料**

**対象：一般**（定員20名）

**申込期間：4月24日（月）～28日（金）**

お名前・ご住所・電話番号・メールアドレス・この講座を何で知ったのか・申込の動機を明記の上、電子メールにてお申込ください。応募多数の場合、先着とさせていただきます。



**申込・問合せ先：**  **筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所** 平成29年度より名称変更

住所：上田市菅平高原1278-294（旧・筑波大学菅平高原実験センター）

E-mail：ikimono@sugadaira.tsukuba.ac.jp

Tel：0268-74-2002（平日9-17時） 担当：佐藤美幸